



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。

2020年 9月5日 朝刊

①リチウムイオン電池の原料になるリチウムは、南米のボリビアなどで主に産出される。リチウムの鉱床があるボリビアの有名な塩湖を何というか。

()

②旭化成名誉フェローの吉野彰氏が、富士支社時代に経験した「ダーウインの海」とは、どのようなことを指しているのか。記事を参考にしながら説明しなさい。

③吉野氏が会見で言及した、リチウムイオン電池の普及の推進力になったと考えられるIT革命という言葉は、2000年に新語・流行語大賞にもなっている。1990年代末から2000年代にかけて日本で言われていたIT革命とはどのようなことを指しているのか。次の語句を必ず使って、説明しなさい。 <IT 基本法 >

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 伊藤大介(静岡聖光学院中学・高校 教諭)

(高校/社会、総合)

吉野さんに県民栄誉賞贈呈

ノーベル化学賞 知事「偉業は希望の星」



県民栄誉賞を受賞した吉野彰氏。4日午後、県庁

県は4日、リチウムイオン電池の開発で2019年にノーベル化学賞を受賞した旭化成の吉野彰さんに表彰状と盾を名譽ラ・エロー吉野彰さへ手渡し、世界的な偉業をたたえた。

吉野さんは05年から約10年間、富士市の同社富士支社の吉野研究室でリチウムイオン電池の高性能化の研究に取り組んだ。贈呈式後の記者会見で吉野さんは、基礎研究や事業化を経て他企業との競争に直面する「ダーウインの海」と呼ばれる試練を富士支社で経験したとして、「一番しんどい部分の研究を静岡

県で続けた」と振り返った。リチウムイオン電池の普及に、IT革命が大きな推進力になった。

た歴史にも言及した。後進の研究者や若者に向け「環境問題の解決のため、これからIT革命に次ぐ新たな変革が起る。世界が大きく変わるとき、若い人にチャンスが生まれる。これを逃したら人生に悔いが残りますよ」と挑戦を促した。

(政治部・杉崎素子)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



解答例

2020年 9月5日 朝刊

記事を読んで、問いに答えなさい。

①リチウムイオン電池の原料になるリチウムは、南米のボリビアなどで主に産出される。リチウムの鉱床があるボリビアの有名な塩湖を何というか。

(**ウユニ塩湖**)

②旭化成名誉フェローの吉野彰氏が、富士支社時代に経験した「ダーウインの海」とは、どのようなことを指しているのか。記事を参考にしながら説明しなさい。

(例) 企業活動の中で、基礎研究が商品化され事業化される過程で他企業との競争に直面するような試練や障壁のこと。

③吉野氏が会見で言及した、リチウムイオン電池の普及の推進力になったと考えられるIT革命という言葉は、2000年に新語・流行語大賞にもなっている。1990年代末から2000年代にかけて日本で言われていたIT革命とはどのようなことを指しているのか。次の語句を必ず使って、説明しなさい。 <IT基本法>

(例) 日本では2000年にIT基本法が成立したほか、インターネットが普及したことなど、情報通信技術の進展が大量の情報を短時間で処理できるようになり、今までの生活にも大きな変化が現れてきたこと。



県民栄誉賞を受賞した吉野彰氏(4日午後、県庁)

吉野さんは05年から約10年間、富士市の同社富士支社の吉野研究室でリチウムイオン電池の高性能化の研究に取り組んだ。贈呈式後の記者会見で吉野さんは、基礎研究や事業化を経て他企業との競争に直面する「ダーウインの海」と呼ばれる試練を富士支社で経験したとして、「一番しんどい部分の研究を静岡

県は4日、リチウムイオン電池の開発で2019年にノーベル化学賞を受賞した旭化成の吉野彰氏に表彰状と盾を名譽ラエロー吉野彰氏に手渡し、世界的な偉業をたたえた。吉野さんは05年から約10年間、富士市の同社富士支社の吉野研究室でリチウムイオン電池の高性能化の研究に取り組んだ。贈呈式後の記者会見で吉野さんは、基礎研究や事業化を経て他企業との競争に直面する「ダーウインの海」と呼ばれる試練を富士支社で経験したとして、「一番しんどい部分の研究を静岡

県で続けた」と振り返った。リチウムイオン電池の普及に、IT革命が大きな推進力になった。川勝知事は「吉野先生のようになりたいと願う少年少女にとつて、先生の偉業は希望の星」と祝福した。県民栄誉賞受賞者は吉野さんが6人目。この日は富士市も吉野さんへの市民栄誉賞贈呈式を市役所で行った。(政治部・杉崎素子)

吉野さんに県民栄誉賞贈呈 ノーベル化学賞 知事「偉業は希望の星」

た歴史にも言及した。後進の研究者や若者に向けて「環境問題の解決のため、これからIT革命に次ぐ新たな変革が起る。世界が大きく変わるとき、若い人にチャンスが生まれる。これを逃したら人生に悔いが残りやすよ」と挑戦を促した。

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 伊藤大介(静岡聖光学院中学・高校 教諭)

(高校/社会、総合)